



第53回

日本Mテクノロジー学会大会  
in 美し国みえ

大会テーマ

Beyond Digital Health :

Mでつなぐ医療・介護・地域の未来 - 美し国から始まる実装と共創

## 趣意書

## 企業セミナー・広告

## 募集のご案内

会 期 : 2025年10月10日(金)~11日(土)

会 場 : 三重大学講堂 三翠ホール  
(三重県津市栗真町屋町1577番地)

大会長 : 川中 普晴(三重大学大学院工学研究科)

大会HP : <https://www.mta.gr.jp/mta2025/>

## ご挨拶

このたび、10月10日と11日の2日間にわたり、三重大学講堂 三翠ホールにて第53回大会を開催させていただくことになりました。第53回大会では、近年の急速な技術革新と社会的課題の変化を背景に、「Beyond Digital Health：Mでつなぐ医療・介護・地域の未来－三重から始まる実装と共創」をテーマとして掲げました。

開催地となる三重県は、地域医療や包括的ケアにおける情報利活用の先進的な取り組みが進む地であり、「みえメディカルバレー構想」に象徴されるように、地域と情報が有機的に連携する実装環境の実現に向けたさまざまな取り組みが進められてきました。一方、Mテクノロジー学会では、MUMPSを中心として、長年にわたり医療・福祉分野における情報システムの実装や運用、さらにはFHIR等の標準化に関する知見を積み重ねてきました。これらの知見は、国内において電子カルテをはじめとする診療支援システムの根幹を担うとともに、多くの現場でその実績と信頼性が実証されています。

現在、医療情報システムは、FHIRに代表される国際標準の普及やAPI、クラウドによる柔軟な連携基盤の構築、さらには近年急速に発展を続けるAIやIoTを含む多領域的技術との融合によって、大きな転換期を迎えつつあります。このような中であって、MUMPS技術の堅牢さと柔軟性、そして現場実装に即した思考は、むしろ今後の情報基盤設計において再評価されるべき価値を含んでいると考えられます。システムの設計と運用においても、単なる機能性の追求にとどまらず、User ExperienceやHuman-Centric Designの重要性について改めて認識され始めており、「現場で使える」「現場とともに育つ」情報技術こそが、真に持続可能な社会基盤となることを、今こそ広く共有すべき時機にあると感じております。

このような激動する社会の中であって、本大会では「地域に限定された事例共有」とどまらず、「全国に共通する課題」——すなわち高齢化や地域医療資源の偏在、医療・介護連携の制度的課題、さらには災害時の情報流通など——に対して、いかに応えるべきかを改めて問い直し、広域的かつ長期的な視座から議論を深める機会を提供したいと考えております。また、全国の医療・福祉・介護・行政・産業・学術の多様な立場の方々の知見を交差させ、Mテクノロジーの今後の在り方を共に考える貴重な機会となることを、心より願っております。

三重は古くから豊かな自然に恵まれており、「御食国」と称された伊勢志摩地域を抱えるなど、「美し国（うましくに）」として多くの人の心を惹きつけ、文化の交差点としても重要な役割を果たしてきました。本大会が学術交流の場にとどまらず、人や文化の交流の場としても意義あるものとなれば幸いです。今年度は台風の影響なども考慮し、10月上旬での開催となりますが、「美し国」にて皆様とお会いできることを、心より楽しみにしております。

第53回日本Mテクノロジー学会大会 大会長

川中 普晴（三重大学 大学院工学研究科）

## 開催概要

### 1. 会議名称

第53回日本Mテクノロジー学会大会

### 2. 会期

2025年10月10日(木)～11日(土)

### 3. 大会役員

大会長：川中 普晴(三重大学大学院工学研究科 教授)

### 4. 開催場所

三重大学講堂 三翠ホール(三重県津市栗真町屋町 1577 番地)

※オンラインウェビナーとのハイブリッド方式

### 5. 参加予定人数

100名程度

### 6. 後援(予定)

日本医療情報学会課題研究会 FHIR 研究会

### 7. 医療情報技師ポイント

本大会の参加により、医療情報技師ポイント・3ポイントが付与されます。

### 8. 収支予算

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
学会参加費	¥850,000	事務局費	¥200,000
協賛金	¥400,000	会場費	¥200,000
		当日運営費	¥250,000
		オンライン配信費	¥100,000
		セミナー費	¥150,000
		謝礼・交通費	¥150,000
		制作・印刷費	¥100,000
		予備費	¥100,000
収入計	¥1,250,000	支出計	¥1,250,000

### 9. 大会事務局

第53回日本Mテクノロジー学会大会事務局

(三重大学大学院工学研究科 画像情報処理研究室内)

E-mail: [mta2022-office@mta.gr.jp](mailto:mta2022-office@mta.gr.jp)

## 企業セミナー・広告募集要項

第53回日本Mテクノロジー学会大会の開催に際しまして、セミナー・広告掲載を募集します。

### ∞ 論文集への広告掲載 ∞ (申込数制限無し)

カラー 1ページ 50,000 円 (賛助会員は年会費の15%相当を割引)  
1/2ページ 30,000 円 (賛助会員は年会費の10%相当を割引)

### ∞ ホームページバナー ∞ (申込数3社まで)

バナー1式 50,000 円 (賛助会員は年会費の15%相当を割引)

### ∞ ランチョンセミナー ∞ (申込数2~3件まで)

発表(10分間のご紹介) 100,000 円 (賛助会員は年会費の20%相当を割引)

### ∞ 休憩時間広告 ∞ (申込数3件まで)

広告(スライド1枚分) 50,000 円 (賛助会員は年会費の15%相当を割引)

※論文集は、「第53回日本Mテクノロジー学会大会論文集」として発行されるもので、大会内容(プログラム)および講演論文を掲載し、当日参加者の他に会員全員に配布されます。(Web参加者用には印刷は行わず、電子データを配布します。)また、当会のホームページならびに医療文献検索サービス「メディカルオンライン」、JST、国立国会図書館への寄贈等を通じて広く公開されます。

※「ホームページロゴ」は、第53回日本Mテクノロジー学会大会ホームページ(<https://www.mta.gr.jp/mta2025/index.html>)上部のメニュー下に、バナー(250×40px程度)を掲載するものです。ホームページ等へのリンクを貼ることが出来ます。お申し込み後速やかに掲載いたします。

※「ランチョンセミナー(発表枠)」は、第53回日本Mテクノロジー学会大会の会期中(10月11日(土)昼を予定)に10分間の企業紹介を行っていただけるもので、ZOOMを利用したご発表をできることが前提となります。発表はオンライン・大会会場のいずれでも可能です。PowerPoint等の発表資料をご用意いただければ、参加者全員への画面共有をご利用いただけます。動画の使用も可能です。

※「休憩時間広告」は、第53回日本Mテクノロジー学会大会の会期の休憩時間中、スライドショーの画面を会場スクリーンならびに配信画面に表示するものになります。口頭による説明は行えません。なお、スライドは別途論文集にもサムネイルを掲載いたします。

### ∞ お申込み方法 ∞

別紙「広告申込書」に必要事項を記載の上、大会事務局([mta2025-office@mta.gr.jp](mailto:mta2025-office@mta.gr.jp))までe-mailにて送付をお願いいたします。

【申込期限】 令和7年9月30日(火)

## ∞ データ送付先及び方法 ∞

いずれも送付先は大会事務局宛て ([mta2025-office@mta.gr.jp](mailto:mta2025-office@mta.gr.jp)) をお願いいたします。原稿等の送付期限はいずれも令和7年9月30日(火)とします。

### 【論文集広告】

原稿は原則としてデータ入稿で受け付けております。原稿は、A4サイズ縦・カラーで作成し、PDF形式で入稿をお願いいたします。

### 【ホームページロゴ】

原稿は原則としてデータ入稿で受け付けております。サイズは250×40px程度を目安として作成して下さい。データの種類は原則としてJPEG・PNG等の標準画像形式で、その他の形式の場合はお問い合わせ下さい。

### 【ランチョンセミナー発表枠】

トラブルに備え、事前に発表用ファイルを事務局まで送付いただきます。動画等を使用いただく場合は事前テストにご協力をお願いいたします。また別途タイトルと発表者、概要を大会事務局までお知らせいただきます。

### 【休憩時間広告】

原稿は原則としてデータ入稿で受け付けております。原稿は、Microsoft PowerPoint 2013以降で、「画面サイズ4:3」または「A4横サイズ」で作成して下さい。なお、動画・音声等は使用できません。

## ∞お支払いについて∞

大会開催後に請求書をお送りいたしますので、指定日迄に指定口座へお振込みください。なお、銀行発行の振込控をもって、当方の領収書に代えさせていただきます。申し訳ございませんが、振込手数料は貴社にてご負担願います。

## ∞(参考) 第52回大会での応募実績∞

【論文集広告】 1ページ:6件 1/2ページ:9件

【ランチョンセミナー】 1件

【ホームページバナー】 2件

【休憩時広告】 2件

計 15社 20件

---

## お問い合わせ先

---

第53回日本Mテクノロジー学会大会事務局

三重大学大学院工学研究科 画像情報処理研究室 内 (担当: 出口, 北島)

Tel: 059-231-9396, Fax: 059-231-9409

E-mail: [mta2025-office@mta.gr.jp](mailto:mta2025-office@mta.gr.jp)

---